

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 放課後等デイサービスういんくる 回収12名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	11	0	0	定められた一人当たりの 広さは確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	9	2	0	法令に基づいた人員配 置を遵守しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	5	6	0		安全に過ごせるよう施設内 点検を行いたいと思います。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	8	3	0		職員全体での会議の場をよ り多く設け、情報共有を行っ ていきたいと思っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	11	0	0		自己評価の結果を踏まえ業 務の振り返りを行いたいと思 います。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	9	1	0	令和5年度中にホーム ページ上で公開し、その 旨をお便りにてお伝えし ます。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	5	2	2		第三者評価については今後 検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	11	0	0	研修計画に基づき研修 の場を確保しています。	
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	0	個人面談と日々の記録 を基に職員間で意見を 出し合い、支援計画作 成に臨んでいます。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	7	2	0	契約時に作成、記入して いただくアセスメントツ ールは標準化されたもの を使用。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	0		集団活動については振り返りの場を 設け、より楽しめるものを企画出来 るよう努めたいと思います。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	11	0	0		同上
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	8	2	0	児童の様子に応じ、柔 軟に活動を行っています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	10	1	0	集団活動の際にも個別 課題の視点を持ち支援 に当たっています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	10	1	0		雑談とミーティングを混同し ないようにしていきたいと思 います。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	10	1	0		同上
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0		記録が有効に活用できてい るか検証し、見直していきた いと思います。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	10	2	0	支援計画、モニタリング の内容を共有し、支援の 方向性を確認していま す。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	2	0	基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0	適任のものが参加しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	2	0	学校との連携は送迎時に情報共有を行っています。状況に応じ学校の様子を見に行く、ういんくるに来ていただくこともあります。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	2	該当者なし。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	3		小学一年生の利用がある時には、就学前に利用していた所からの情報は得たいと考えています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	3	0	移行の前後、情報提供や定着のために関係者との会議等を行っています。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5	1		今後連携できるよう努力していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	3	0	児童館へ行っています。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	4	2		今後検討したいと思います。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	0	日々の送迎や連絡帳、個人面談を通し、保護者の方と同じ方向を向いて支援に当たれるよう心掛けています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	3	0		必要に応じ個別に対応しているが、今後保護者会等の場を有効に活用出来るようにしていきたいと思います。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0		契約時に説明は行っているが、より丁寧な説明を心掛けたいと思います。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	0		相談に対し真摯に向きあえるよう心掛けています。専門性を高め、より適切な助言を行えるようにしていきたいと思ひます。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	3		コロナ渦で中止にしていた保護者会ですが、来年度は開催したいと思ひます。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0		苦情の窓口については重要事項説明書に記載されています。受けた苦情についてはなるべく迅速に対応できるように努めています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	0		ういんくるの便りにて様子や予定などをお伝えしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑤	個人情報に十分注意している	8	2	0		十分に注意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	9	0	0		包容力ある事業所となれる よう専門性を高めていき たいと思います。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	2	5	2		地域との交流については慎 重に検討していきたいと思 います。
非常時 等の 対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	8	2	0		BCP(業務継続計画)整備 後、周知していきたいと思 います。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	7	2	1		定期的な避難訓練を行い、 報告をしていきたいと思 います。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	11	0	0	定期的な研修を行い支 援の質を確保していま す。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	9	0	0		保護者の同意のもと、計画 に記載しています。身体拘 束適正化委員会も年に二回 以上開催しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	8	1	0	保護者からの聞き取りを もとに行っています。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	9	0	0	集計し、会議の場で共有 しています。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。